

(54) PNEUMATIC ABSORBING DEVICE FOR INTERMITTENT ROTARY PLATE

(11) 62-130144 (A) (43) 12.6.1987 (19) JP

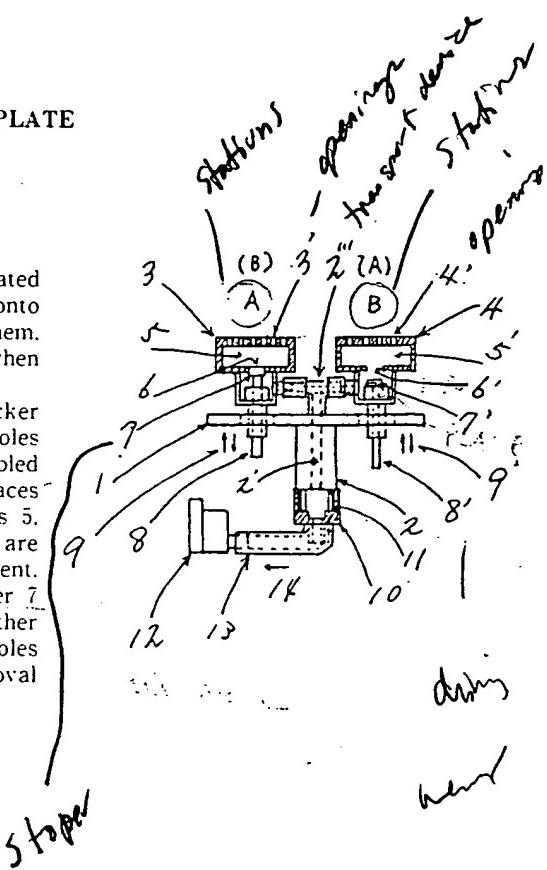
(21) Appl. No. 60-267948 (22) 28.11.1985

(71) MITSUO NAKAI (72) MITSUO NAKAI

(51) Int. Cl'. B23Q3/08

**PURPOSE:** To make it possible to pneumatically absorb only a table located at a predetermined position, by attaching shafts each having an air hole onto a rotary disc, by providing tables each having an air chamber to rotate them, and by providing a device for shutting off the air chamber of each table when the table comes to the predetermined position.

**CONSTITUTION:** A shaft 2 having an air hole 2' connected to an air sucker 12, is provided on a rotary disc 1, and a plurality of shafts 2 having air holes are arranged in the upper section of the rotary disc. The shafts 2 are coupled to tables 3, 4, respectively. The tables 3, 4 are formed in their upper surfaces with several air holes 3', 4' which are communicated with air chambers 5, 5'. Air holes 6, 6' formed in the lower section of the air chambers 5, 5' are opened and closed by means of closable stoppers 7, 7'. With this arrangement, when one of the tables has come to a predetermined position, the stopper 7 shuts off the air communication while the stoppers in the tables at the other positions are opened so that air is sucked into the sucker 12 through holes 4', 6', 2'. Accordingly, it is possible to facilitate the absorption and removal of a workpiece.



⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

昭62-130144

⑫ Int.CI.

B 23 Q 3/08

識別記号

序内整理番号

A-8207-3C

⑬ 公開 昭和62年(1987)6月12日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 間欠、回転板のエヤー吸引装置

⑮ 特願 昭60-267948

⑯ 出願 昭60(1985)11月28日

⑰ 発明者 中井 光男 静岡市緑が丘町7の16

⑱ 出願人 中井 光男 静岡市緑が丘町7の16

明細書

1. 発明の名称

間欠、回転板のエヤー吸引装置

2. 特許請求範囲

空気吸引機(12)と空気ペイプ(13)とパッキン(14)と

車輪固定具(10)と空気穴(2)を有する車輪を連結して

上方に回転板(11)を取り付け、回転板(11)上に矢印

(9)(9')の運動をする車輪(8)(8')と止具(7)(7')と空

気止穴(6)(6')と空気室(5)(5')と空気穴(3)(4)

を有するテーブル(3)(4)を設置し連結部(2')と

2. 連結部を矢印(14)の方向に吸引矢印(5)

12. 矢印方向は回転板(11)を回転させA位置へ

テーブル(3)をB位置へB位置へA位置へ

へ移動させて様にして任意の数の分割テーブル

(14)を加えて取付けても使用本数を様にして、間欠、

回転板のエヤー吸引装置。

3. 発明の詳細な説明

2. 発明は間欠、回転板のエヤー吸引装置

係りである。

この発明を図面にて説明すと図中には回転板

(2)は車輪、(3)は空気穴、(2')は連結部(1)、(4)はテ

ーブル(3')(4)は空気穴、(5)(5')は空気室、(6)(6')

は空気止穴、(7)(7')は止具、(8)(8')は止車輪(9)(9')

は止車輪(8)(8')の運動方向を示す矢印印、(10)は固定

具、(11)はパッキン、(12)は空気吸引機、(13)は空

気ペイプ、(14)は空気の移動方向を示す矢印、(15)

1. 回転板(11)の回転方向を示す矢印、(16)は仕

意の数の分割テーブル、A、Bはテーブル(3)(4)の

位置を示すのである。

本発明は係り間欠、回転板のエヤー吸引装

置に上記の様に構成されてから回転板(11)

の下方に空気吸引機(12)と車輪(2)をパッキン

(11)と空気孔を防止して車輪固定具(10)とを

空気ペイプ(13)と連結し回転板(11)の上方に矢印

(9)(9')を示す矢印と上下運動する止具(7)(7')を

有する車輪(8)(8')をテーブル(3)(4)内の空気止穴

(6)(6')に全く様に設置し、テーブル(3)(4)は空気穴(3')(4')を設けた連絡部(2')(2'')にてテーブル(3)(4)と空気穴(2)と連結して空気吸引機(12)の運動によって空気を空気穴(3')(4')より吸引され、空気室(5)(5')内に入り、A位置にてテーブル(3)が停止しない時、工具(7)は工具正具(17)にて空気穴(6)をふさぎ、空氣の流通を止め一方でA位置の3テーブル(4)内にある工具(7)を車輪(8)の車下方向にて移動させて空気正具(6)を用いて空気室を連結部(2')(2'')と空気穴(2)と空気部(3)(3')にて工具(14)にて示す様に空気吸引機(12)へ吸引される。工具(15)の方に向て車輪をさせ、A位置にて3テーブル(3)とB位置へ移動、停止させ、B位置のテーブル(4)をA位置へ移動させ止車輪(8)の運動にて工具正具(6)を工具正具(6)と同じ様に工具正具(6)と工具(7)を結合させて空気の流通を止め様にいたのである。

空気は常に空気吸引機(12)にて元の12段引されていゝから、テーブル(3)(4)が停止している間、テーブルは吸引を止め移動中は常に他のテーブル(3)(4)とも吸引が止めて工具4個にて工具棒の任意の数の分割テーブル(16)を取行ることも出来るのである。従来の向吸圓盤は圓盤中の空気の吸引が未だかつたかと上部(7)(7')の作用にて吸引と停止の切換が出来て、且つ工具の吸着と取りはずしが簡単に出来且構造が簡単な反対面に製作が出来且構造が簡単な反対面に製作本末等の実用的効果を發揮するのである。

## 4. 図面と簡単な説明

オ1図は圓輪板(1)は各部品を取付た側面図、オ2図はテーブル(3)(4)の位置を示す平面図、オ3図はテーブル(3)(4)の移動位置を示す平面図、オ4図は分割テーブルを取付た平面図である。

特許出願人 中井光男

